

ひとりだち



学校だより第1号

令和6年5月10日

岐阜県立飛騨特別支援学校

あいさつからはじまる みんなのがっこう

44名の新入生と1名の転入生を迎え、138名の児童生徒で令和6年度がスタートしてひと月が経ちました。進級、進学で起きた環境の変化への戸惑いを経て、児童生徒はそれぞれ、挑戦を始めています。教育目標「ひとりだちのできる子の育成～自立と社会参加の力を育てる～」を達成するために、今年度は「安心安全な学校」「児童生徒が主体となって学ぶ学校」を重点として教育活動を進めていきます。また、児童生徒が地域で自分らしく生き生きと暮らせるように、



「教育活動の周知」「キャリア教育の充実」「地域との連携」にも力を入れてまいります。1年の始まりに当たり、「挨拶をと おして、思いを伝え、仲間を大切にするみんなの学校にしよう」と呼びかけました。「あいさつからはじまる みんなのがっこう」です。今年度も、児童生徒がなりたい自分に向かってたくましくチャレンジできるよう、保護者の皆さま、地域の皆さまの御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校長 竹田 万里子

迎えた入学式（4月10日）

うららかな春の日差しのもと、令和6年度入学式を行いました。今年度は小学部10名・中学部8名・高等部26名、計44名の児童生徒の皆さんが入学されました。来賓の皆様、保護者の皆様、学校職員の見守る中、新入生からは、「いろいろな行事や、作業学習などの新しい授業をがんばりたいです。」という決意が、児童生徒会代表からは「皆さんの入学を楽しみにしていました。みんなですばらしい学校にしていきたいと思います。」と歓迎の挨拶が述べられました。



令和6年度児童生徒会役員認証式、新転入生を迎える会を行いました（4月18日）

令和6年度前期児童生徒会執行部の認証式、新転入生を迎える会を行いました。全校の皆さんよろしくお願いいたします！



児童生徒会役員認証式



新転入生を迎える会

各部の様子

【小学部】

4月当初、登校の時に玄関で泣いていた1年生が、最近は笑顔で登校し、「今日も支援学校楽しかった！」と元気に帰るようになり、嬉しい限りです。小学部の4月の生活単元学習は、公園に行くことや、ダイナミックな遊びを繰り返し積み重ねることで、友達と仲良く遊ぶことや、ルールやマナーを守ることを学びました。繰り返し行うことで、「次はこうしてみようかな？」と工夫が見られたり、自分から準備や片づけを積極的に行ったり、思い切り身体を動かしたり、友達に話しかけたりする姿がたくさんありました。自分で考えたことや、やりたいことができる嬉しくて、「もっとやりたい！」と笑顔いっぱいの小学部です。



【中学部】

中学部では、作業学習のオリエンテーションがありました。今年度中学部では、これまでの紙漉き班に加え、新たに紙加工班を立ち上げ活動します。紙加工班では、新聞紙でのエコバッグやメッセージカード、季節の飾り等を作ります。まずは、みんなで新聞紙でのエコバッグ作りにチャレンジしましたが、初めての作業に悪戦苦闘しながらも真剣な表情で取り組んでいました。



今年度は、お客様に製品を直接渡す機会を多く作ったり、お客様から注文をとってお届けしたり、自分たちでどんな製品にするとよいかアイデアを出して考えたり…そんな活動も取り入れ、生徒たちがより主体的に作業学習に取り組めるよう支援していきたいと思えます。

【高等部】

高等部でも新入生を迎えて本格的な活動が始まっています。4月18日には「新入生を迎える会」が体育館で行われました。新入生、在校生それぞれの自己紹介、委員会活動や部活動の紹介をしあい、温かい雰囲気で行うことができました。作業学習や部活動も始まり、活気に溢れています。これから修学旅行や宿泊学習、現場実習など様々な行事が続きます。一人一人が「なりたい自分」を目指して、充実した学校生活を送ってほしいです。



新転入生を迎える会



作業学習の様子